

令和3年度岡山市市民協働推進モデル事業報告会・協働推進員研修会 開催要項

1. 趣旨:

令和2年度に実施した岡山市市民協働推進モデル事業(以下、モデル事業)の報告を通じて岡山市が抱える社会課題への理解を深めつつ、事業の成果や協働のノウハウを広く共有します。なお、本報告会は岡山市協働推進員の研修会を兼ねることとして、協働推進員の「協働のまちづくり条例」や「協働推進計画」に対する理解を深め、よりよい協働の実践を後押しすることを目指します。

2. 日時:令和3年6月25日(金) 13時30分~16時00分

3. 会場:岡山市勤労者福祉センター 5階体育集会室

4. 対象:

- ①岡山市及び連携中枢都市圏域の市民活動関係者及び行政職員/30名程度
- ②岡山市協働推進員 58名

5. 参加費:無料

6. プログラム:

時間	所要	プログラム	担当
13:30	3分	開会あいさつ	岡山市市民協働局長
13:33	7分	第2次岡山市協働推進計画	岡山市市民協働企画総務課
13:40	5分	市民協働推進事業	ESD・市民協働推進センター
13:45	12分	事業報告①	子ども・若者支援ネットワーク 地域子育て支援課 こども福祉課
13:57	3分	質疑応答	
14:00	12分	事業報告②	NPO 法人オカヤマビューティサミット こども福祉課
14:12	3分	質疑応答	
14:15	12分	事業報告③	NPO 法人あかね 生活保護・自立支援課 こども福祉課
14:27	3分	質疑応答	
14:30	5分	休憩	
14:35	1分	講師紹介	
14:36	40分	講演①	長浜 洋二氏(モジョコンサルティング合同会社)

15:16	5分	質疑応答	
15:21	1分	講師紹介	
15:22	30分	講演②	濱西 栄司氏(ノートルダム清心女子大学)
15:52	5分	質疑応答	
15:57	3分	事務連絡	岡山市市民協働企画総務課
16:00	—	閉会	

7. 報告事業一覧:

NO.	事業名	実施団体	協働課
1	子ども・若者支援ネットワーク事業～ 高校世代の孤立を防ぎ社会的自立 につなげるための支援を考える～	子ども・若者支援ネットワーク	・地域子育て支援課 ・こども福祉課
2	シングルマザーの経済的自立に向 けた資格取得・就労支援事業「結」	NPO 法人オカヤマビューティサミ ト	こども福祉課
3	生活困窮など困難を抱える学童期の 子どもの学習習慣の定着を図るため のICTを活用した学習サポート事業	NPO 法人あかね	・生活保護・自立支援課 ・こども福祉課

8. 講演:

・講演①

演題	協働事業をはじめる前に知っておくべきポイント
内容	協働が必要とされる背景やその必要性の見極め、協働に至るまでのステップや実施に向けた条件 など、協働事業を開始する前に知っておくべき基礎知識を学ぶ。
講師	長浜 洋二 氏(モジョコンサルティング合同会社 代表者)
略歴	1969年山口県周南市生まれ。中央大学を卒業後、日本電信電話株式会社(NTT)へ入社。3年で退職し、2年間の浪人生活を経て、1997年から米国ピッツバーグ大学公共政策大学院へ留学し NPO マネジメントに特化した公共経営学修士号(Master of Public Administration)を取得。 その後、米国の非営利シンクタンクにてプライバシー/個人情報保護に関する法制度の調査・研究、 ファンドレイジング、ロビイングなどに従事する。2001年に帰国後、マツダ株式会社、富士通株式会 社でマーケティング業務に携わる一方、NPO マーケティング研究所を立ち上げ、全国でNPO 向けの マーケティング研修プログラム『草莽塾』を開催。 2015年に公益組織のコンサルティングを行う株式会社 PubliCo の起業を経て、2018年にモジョコン サルティング合同会社を設立。「人が変わる、組織が変わる、社会が変わる」をテーマに、行政、 NPO/NGO、コミュニティ組織(自治会/町内会、まちづくり協議会等)、ソーシャルビジネス、社会福 祉法人、市民団体、企業 CSR、財団など、社会課題の解決と新しい価値の創造に取り組む多様な 主体のコンサルティング支援と生態系(エコシステム)づくりを行っている。 著書に『NPO のためのマーケティング講座』。

・講演②

演題	ナッジ入門:行政への導入と課題
内容	ナッジとは、行動科学の知見から、人が望ましい行動をとれるようにアプローチすることを指します。罰則やインセンティブによって、人を動かすのではなく「自発的に行動するように環境をデザインする」という点に特徴があります。このナッジの基礎的な考え方、そして自治体へ導入する意義と課題について紹介します。
講師	濱西 栄司 氏(ノートルダム清心女子大学 文学部現代社会学科准教授/地域連携・SDGs 推進センター長)
略歴	1977 年京都市生まれ。京都大学大学院博士後期課程研究指導認定退学。博士(文学)。専門は社会学(社会集団・組織論)。 2011 年にノートルダム清心女子大学文学部現代社会学科講師、15 年から同准教授。2019 年から地域連携・SDGs 推進センター主任、21 年から同センター長。 国連大学 SDG 大学連携プラットフォーム担当。岡山市の男女共同参画専門委員会副委員長。岡山市在住。

9. 主催・お問い合わせ先:岡山市/ESD・市民協働推進センター(高平)

TEL:086-803-1062 E-mail:esd-smc@googlegroups.com

以上

ご報告いただく皆様(令和2年度市民協働推進モデル事業実施団体と協働課)へのお願い

以下、報告にあたってのお願い事項等になります。ご不明な点などがございましたら「お問い合わせ先」までご連絡ください。

■報告内容(例):

※以下は例になります。本報告会が「協働推進員の学び」を目的としていることから、できるだけ「③」を含めた内容としてください。

- ①事業概要・役割分担など(4分程度)
- ②事業の効果・もたらされた変化など(4分程度)
- ③これから協働を実践する人へのアドバイスなど(4分程度/実施団体と協働課から2分ずつ)

■報告時間:1事業あたり12分間となります。その後、3分間の質疑応答の時間を設けています。

■資料の作成について

- ・実施団体・協働課で相互に確認のうえ、作成・提出してください。
- ・「PowerPoint」などを使用して、できるだけ視認性の高い資料をご用意ください。
- ・ご不明な点などがございましたら ESD・市民協働推進センターまでお気軽にご相談ください。

■資料の提出先・締切について

- ・提出先:ESD・市民協働推進センター(E-mail:esd-smc@googlegroups.com)
- ・締切:6月21日(月)中まで

(2)当日の集合時間・場所

- ①集合時間:6月25日(金)13時00分
- ②集合場所:岡山市勤労者福祉センター 5階 体育集会室

(3)配布資料について

報告資料以外に参加者への配布を希望される資料がある場合は、事前に ESD・市民協働推進センターまでお知らせください。

【お問合せ先】

ESD・市民協働推進センター(担当:高平・野崎・池本)

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号 岡山市役所本庁舎2階(市民協働企画総務課内)

TEL : 086-803-1062 E-mail : esd-smc@googlegroups.com